

ふるさと講座・歴史系

江戸時代のノツケ！

～野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる～

道内でも珍しい江戸時代の遺跡を訪ねたいと思います。また、野付半島の春の息吹も感じられることと思います。

●日 時 平成23年4月17日（日）

午前10時～午後1時

●場 所 野付半島

（集合-野付半島ネイチャーセンター2階）

●講 師 別海町郷土資料館 石渡 一人

●定 員 20名

（電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を4月15日（金）までにご連絡ください。）

●その他 長靴を必ず着用下さい。草分け道や海岸を5kmほど歩きます。



1999年頃の野付通行屋跡遺跡
右上写真は墓石

郷土学習出前講座をご活用ください！

当館スタッフが学校（学級レクも可能）や地域の各団体へ出向いて講座を実施します。現在、下記メニューにより、別海町の歴史や自然をわかりやすくお話しします。家族ぐるみや少人数の場合は（10人程度）、郷土資料館でも実施できますので、詳しくはお電話で問合せください。

1. 昔々のべつかい

先史時代の様子のお話や、各種体験活動を通して別海の古代を紹介します。

①お話し ②体験活動「土器作り」「勾玉作り」「火おこし」など ③遺跡見学

2. 幻の町キラクを探るー野付通行屋跡遺跡の発掘調査から

江戸時代の野付半島の様子を野付通行屋跡遺跡の発掘調査の成果を交え紹介します。

3. 加賀家文書とは？

加賀家文書に関する江戸時代末の別海町の様子を紹介します。

4. べつかい缶詰物語

開拓使により設置された別海缶詰工場に関する歴史を紹介します。

5. 昆虫採集・標本作り

町内に生息する蝶やトンボを採集し、同定、標本作りを指導します。

6. 化石にふれよう

野付半島沖で発見されたマンモスゾウ臼歯化石のお話と化石のレプリカ作りを指導します。

7. 巣箱づくり

巣箱作りを通して、野鳥に対する理解を深めます。

近世の別海を探る 「西別川河口から北」～その5～

トコタン（1）

文献史料の標記は、トコタンです。

○地名の由来

☆〔トコタン〕

「…夷語ツコタンなり。則、村の崎といふ事。扱、ツとは山崎の事、コタンとは村、亦は所等と申事にて、此崎に夷家有故、此名ある由。」

『蝦夷地名考并里程記』上原熊次郎文政7年(1824)

☆〔トコタン〕

「…名義、沼村と云儀也。昔しは人家多かりしが、近頃会所元え引き移りたり。」

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』

松浦武四郎 安政3年(1856)

☆〔トコタン〕

・「川あり 沼 所」

『丙寅慶応二年正月吉日 万覚帳 安政六末年 子モロ地名和解書』加賀伝蔵 安政6年(1859)

☆〔トコタン〕

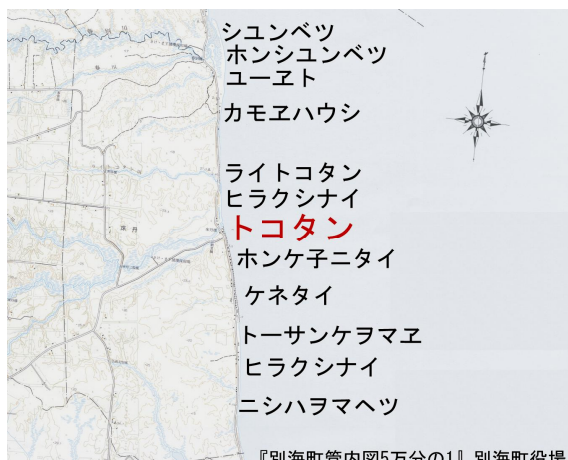
・「沼所」

『蝦夷方言 藻汐草[写]根室国境区域[根室地名解]』加賀伝蔵 明治2年(1869)

☆〔トコタン〕

・「ニツ村 今ノ「トコタン」ト「ライチコタン」ヲ呼ビテニツ村ト称セシガ後世一村ノ名トナリシト「アイヌ」ハ云フ」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)



『別海町管内図5万分の1』別海町役場



床丹川河口

別海町郷土資料館だより No.141

発行日 平成23年4月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

東北地方を襲った大地震と津波の損害は計り知れないものがあり、復旧にはかなりの年数がかかると思われます。人、郷土を壊滅状態に追い込み、その生活、歴史の足跡が消えていくようで心配です。一日も早い復興を願い、我郷土をどう守っていくべきか、考えていくことが必要と思われます。(K.I)